

設楽町まち・ひと・しごと創生推進計画 令和6年度実績に基づく効果検証結果

No.	交付金事業の名称/事業概要/実施内容	実績（単位：円）		評価指標	目標値（R8年度）	実績値（R6年度）	R6評価	結果に対する現状、原因、改善について
		（寄付額）	内基金積立額	小規模多機能自治組織の形成	1地区	0地区	D 目標を下回る（50％未満）	持続可能なまちづくりを目指した住民主体の地域活動が芽生え始めています。こうした取組が、地域経営の視野をもち、小規模多機能自治組織に繋がるよう伴奏支援していきます。
1	〈地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）〉 設楽町まち・ひと・しごと創生推進計画（令和3年度～令和6年度） ■事業概要 ・基本目標1 設楽町で継続した暮らしを実現する ・基本目標2 設楽町で働きたい方の希望を実現する ・基本目標3 設楽町で暮らしたい方の希望を実現する ・基本目標4 設楽町での子育て希望を実現する ・基本目標5 設楽町に訪れた方の満足を実現する	2,400,000	2,400,000	基幹バス路線の維持	4路線	4路線	A 目標どおり（100％～）	4路線の運行を維持
				町内公共交通の利用者の維持	前年度を下回らない	11.3回/年	A 目標どおり（100％～）	田口新城線の利用者が増加したことにより、数値が改善された。
				新規就農者数	3人/年	0人/年	D 目標を下回る（50％未満）	令和7年度に受け入れが始まる新規就農者3名の対応を行ってきた。
				新規林業従事者数	1人/年	2人/年	A 目標どおり（100％～）	森林組合が事業継続・技術継承のため、新規雇用を行っている。
				新規起業家数	3人/年	1人/年	D 目標を下回る（50％未満）	相談はあるものの創業までに至らないケースがある。借家などの条件が
				移住施策のPR	25,000アクセス/年	84,492アクセス/年	A 目標どおり（100％～）	空家に関する需要や関心が高い。引き続き空家バンクの情報発信とともに、移住定住施策や地域の魅力に関する情報を発信していく。
				住まいの確保(分譲地)	5区画/年	0区画/年	D 目標を下回る（50％未満）	宅地分譲地の造成のみでは効果が薄いため、移住定住施策として複合的な事業実施に向け検討が必要
				空家バンク契約成立件数	5件/年	7件/年	A 目標どおり（100％～）	登録物件を増やし、契約成立に繋げていく。
				出会いイベントカップル成立件数	3件/年	1件/年	D 目標を下回る（50％未満）	J A愛知東結婚相談所による事業で実績があったが、ほかには、出会いイベントがないため成立がないが、イベント醸成に向け関係団体に働きかけていく。
				合計特殊出生率	100%	0.5/人	D 目標を下回る（50％未満）	2023年の愛知県の合計特殊出生率は1.29（全国1.20）である。昨年は
				待機児童数	0件/年	件/年	A 目標どおり（100％～）	各園の認可人員及び職員配置基準内で園児数が推移している
				海外派遣で英語力の向上に自信を持つ	70%	%	－ 測定・評価不能	海外派遣事業未実施（R7より実施予定）
				県立田口高等学校の生徒数の維持	120名	61名	C 目標をやや下回る（50％以上～80％未満）	町も構成員として参画している学校運営協議会の中で地域と共に学校の魅力化を図り、生徒数の維持に務める
				町外への販売商品の拡大	25件/年	63件/年	A 目標どおり（100％～）	ふるさと納税を活用し町外への販路を拡大した。今後さらに返礼品の種
				奥三河ふるさとガイドの活用（請負）	200件/年	143件/年	C 目標をやや下回る（50％以上～80％未満）	原生林ガイドや巨木展のガイドなど少ない人数で対応していることから、新たなガイドの育成も進めるほか、観光協会が旅行業として「巨木」を巡る旅を企画、さらに県図書券で巨木展を行うなどPR活動に努
				設楽町観光協会の収益向上	12,000千円/年	12,200千円/年	A 目標どおり（100％～）	観光協会が法人化されたことで事業の幅が広がったが、今後は旅行業を活用したツアーの販売に注力していく。
				設楽町観光協会HPへのアクセス数	450,000アクセス/年	アクセス/年	A 目標どおり（100％～）	昨今はHPだけではなく、インスタ、X、フェイスブックなどで広く周知しておりアクセス数やフォロアー数を伸ばしている。引き続き広く周知していく。
				イベント及びツアーの売上向上	12,000千円/年	900千円/年	D 目標を下回る（50％未満）	法人化され間もないためイベントやツアーでの売り上げが少ない。旅行業を大いに活用し今までにない観光事業を展開していく。

◆凡例（評価の区分：％は進捗率）

- A 目標どおり（100％～）
- B 概ね目標どおり（80％以上～100％未満）
- C 目標をやや下回る（50％以上～80％未満）
- D 目標を下回る（50％未満）
- － 測定・評価不能